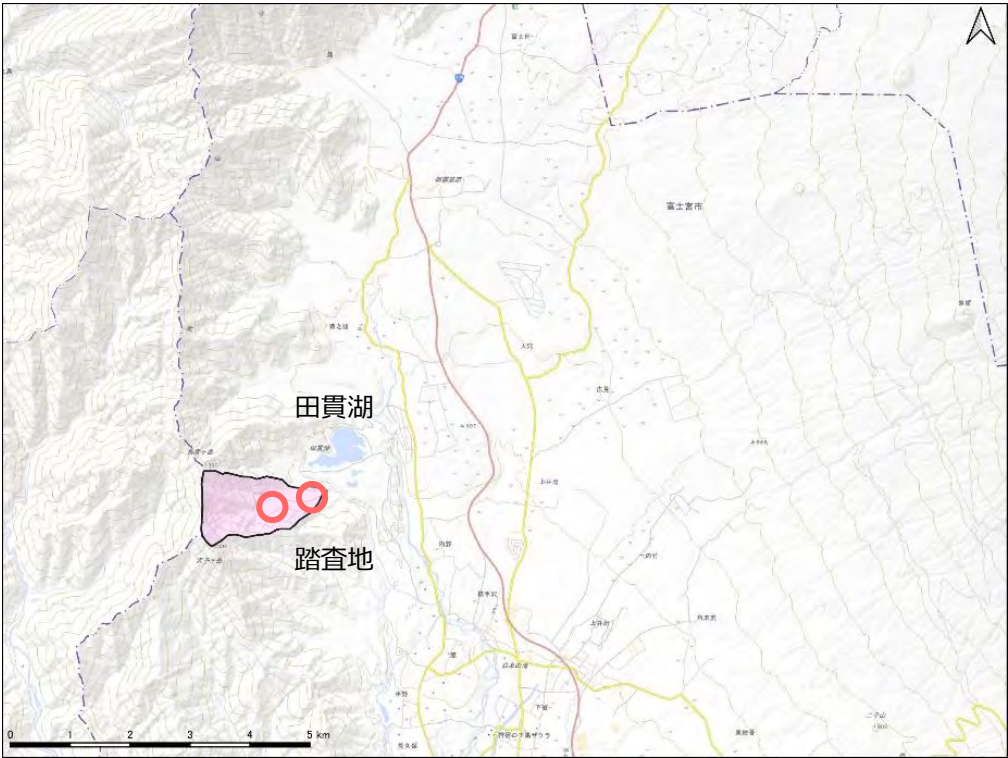


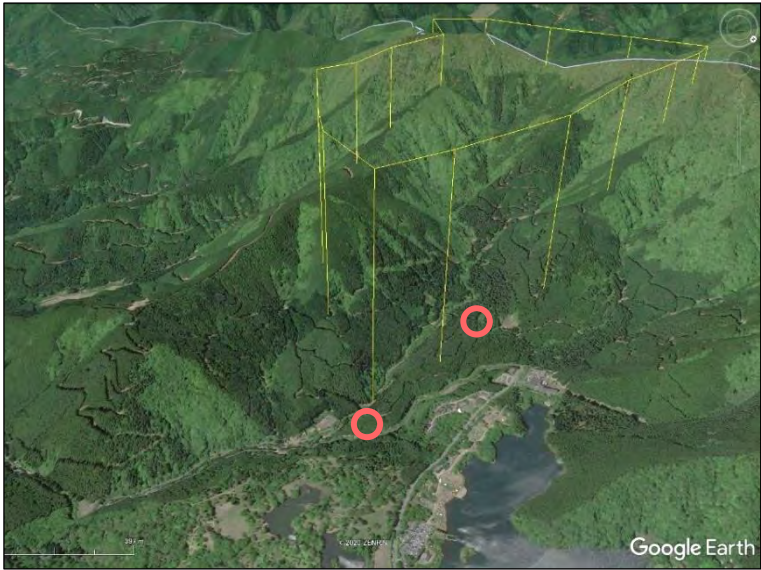
5.静岡県-①.富士宮市佐折

(1) 概要

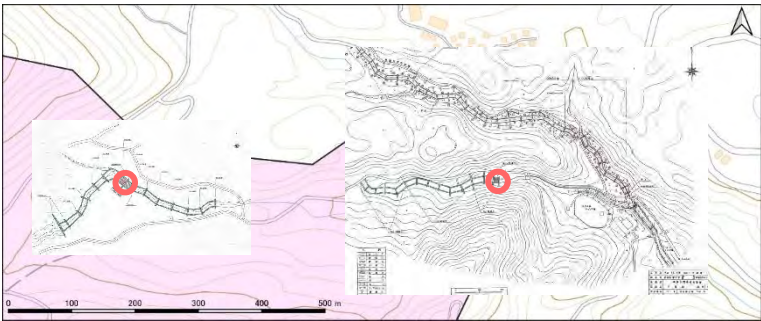


施工地の位置図

平成8年から12年にかけて森林水環境総合整備事業により、水質保全施設が2基施工されている。集水面積は上流部が139.8ha、下流部が171.2haである。貯水池等保全タイプの濁水移動域における透過施設として区分した。



集水域の鳥瞰イメージ



平面図

5.静岡県-①.富士宮市佐折

(2) 上下流の状況



荒廃状況(1) 支流は谷止工群で安定傾向



荒廃状況(2) 道路上部の効果的な施設配置



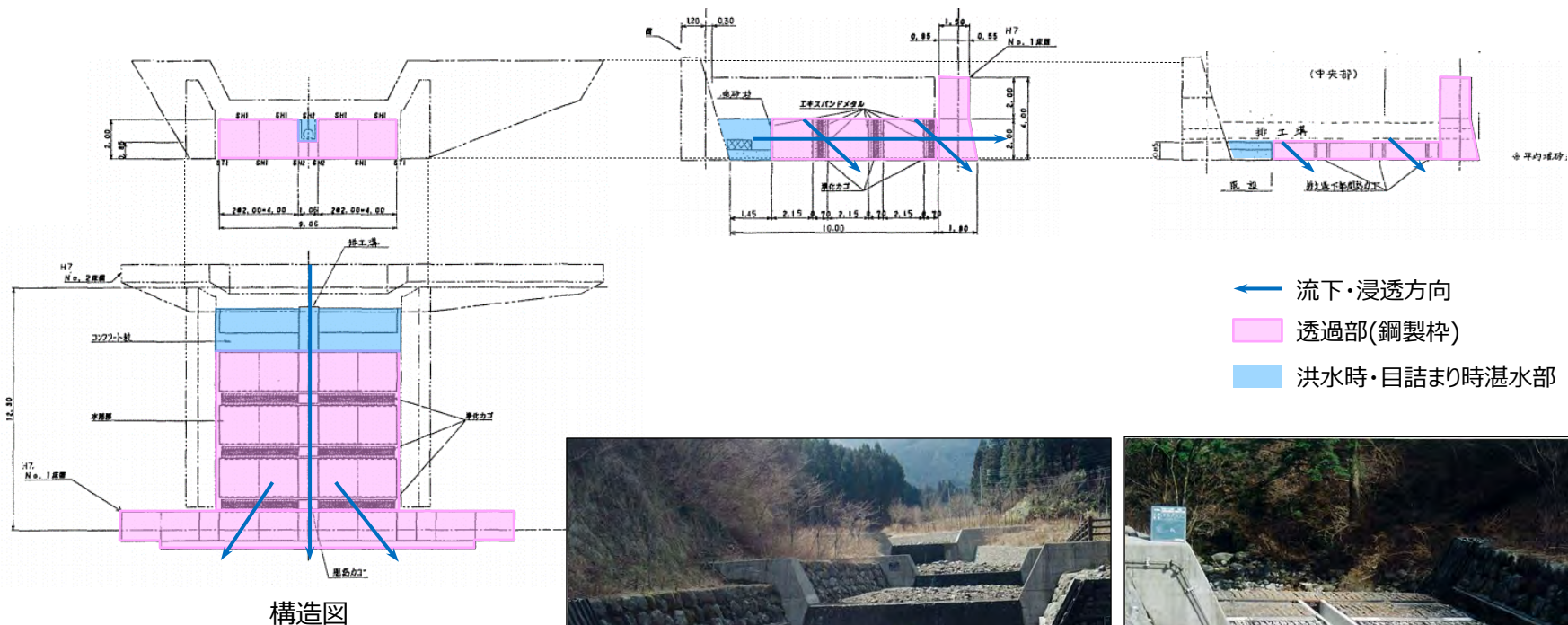
荒廃状況(3) 山腹崩壊発生 転石は安定堆積



荒廃状況(4) 合流点の土砂堆積状況は安定している。

溪床に不安定土砂が広く堆積している。荒廃状況(3)のように、一部活性化した溪岸崩壊地があるが、礫径の分布や蘚苔類の付着状況を考慮すると、治山施設の配置効果を含め、土砂移動は安定傾向にある。なお、下流域にはオートキャンプ場等のレクリエーション施設がある。

(3)-1 下流施設-施工当時の状況



下流から上流(2000年現在)



上流から下流(2000年現在)

計画勾配0%の配置。鋼製枠を床固工下部に配置し、透過させることによって水質の浄化を図ることとしている。